R+house構造見学会

10/20土・21日

10:00 – 16:00

入場無料　予約不要

お問合せは、フリーダイヤルまたはメールで！

デザイナーとつくる高性能な住まい

R+アトリエ建築家〝マイスターズクラブメンバー〟

お客様用の駐車場をご用意しております。
※ご希望の方は、会場スタッフまでお気軽にお声掛けください。

見学会会場 address：立川市砂川町4-26-35

建築家と建てる家を、身近に、手軽に
R+house

R+house 立川 / 株式会社匠技建　立川市幸町2-43-7

R+house立川　検索

0120-045-171　info@takumigiken.com　http://www.rplus-takumigiken.com

R+house とは

「一流の建築家が設計するデザイン性の高い家」
「高気密・高断熱・高耐震の高耐久の家」
誰もが一度は住みたいと思う理想の住宅。
これを手の届く価格で提供できないか。
お客様の想いをカタチにする注文住宅でありながら、
様々な工夫でコストを抑える。
そんな発想に基づいて生まれたのが **R+house** です。

R+house が提供する “快適な住まい”

1 建築家とつくる
デザイナーズ住宅

2 高性能を追求した
快適で高耐久な住宅

3 しっかりコストを
抑えた住宅

“快適な住まい”とは部屋の中が適温に保たれている家のこと。暑い夏でも室温が上がりすぎず、寒い冬でも足元が冷たくならない。正しく断熱して、気密性能を高め、計画換気を行えば、“快適な住まい”は実現できます。

「**R+**house」には、そのための工夫がたくさん詰まっています。そして“快適な住まい”は、同時に光熱費も少なくて済むという、嬉しいおまけ付き。

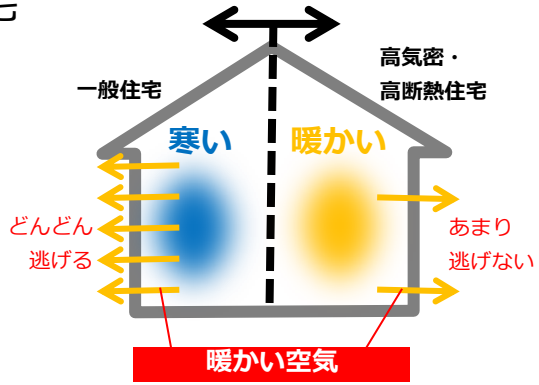
また、暮らす人の健康もサポート。住むほどに嬉しいことが増え続ける住宅なのです。

高気密 ＋ **高断熱** ＋ **計画換気**

快適で高耐久の住宅を実現するにはこの三点セットが不可欠。
住宅の温熱環境と空気環境を長きにわたって守ります。

高気密・高断熱住宅

R+house は
性能（気密・断熱）に
とことんこだわっています。



「高気密住宅」とは？

「C値」で表されます。住宅の気密性能を表す指標のことで、ゼロに近いほど隙間が少なく、気密性能が高いと言えます。

住宅の隙間を減らすことで熱損失を少なくするので、冷暖房用エネルギーの消費の低減ができます。また、計画的な換気をコントロールしたり結露を解消するなど、生活環境の快適性を高めた住宅です。

「高断熱住宅」とは？

「Q値」もしくは「UA値」で表されます。住まいの断熱性能を示す目安で、熱の逃げにくさを表しています。

住宅の外部と接する部分（外壁、屋根、窓など）から熱が移動しないように、室内と室外をエネルギー的にはっきり区切ることを「断熱」といいます。断熱工事によって熱エネルギーの行き来が少なくなった状態が「高断熱」です。冷暖房効果が高いので省エネルギー性が高く、環境への負荷も少ない住宅と言われています。

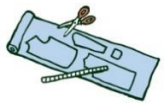
R+house の気密性・断熱性は？

高気密の指標
相当隙間面積 **C値**

高断熱の指標
熱損失係数 **Q値**

高断熱の指標
外皮平均
熱貫流率 **UA値**

住宅の気密性能は床面積1m^{2}あたりの隙間面積で示され、数値が小さいほど気密性能が高いことを指します。日本の一般レベルは5.0（㎠/m^2）です。



Q値・UA値は、住宅の断熱性能を表す指標で、数値が小さいほど優れています。現行省エネ法の基準値は地域によりますが、4～6区分（旧区分でⅢ地域・Ⅳ地域（東北の一部～九州の一部まで））では下記の通りです。

旧区分	新区分	Q値	UA値
Ⅲ地域	4	2.4W/m^2/K	0.75W/m^2/K
Ⅳ地域	5	2.7W/m^2/K	0.87W/m^2/K
	6		0.87W/m^2/K